

放送朝会（校長講話） 10月

泊っ子の皆さん、おはようございます。

昨日から10月に入り、1学期後半も1ヶ月がたちました。その間、皆さんが健康・安全に気をつけ、学校生活を送っていることに校長先生は、とても感心し・安心しています。

毎日のお勉強はもちろん、「しあわせ 安心 泊っ子キャンペーン」で、学級のお友達とさらに仲良くなり、いろいろなことに頑張っている皆さんの姿を見るのは 本当に嬉しいです。

校長先生にとって自慢の泊っ子ですが、最近、とても残念ながっかりすることがありました。皆さん どんなことだと思いますか？ それは・・・「朝の挨拶」での出来事です。

先週から今週にかけて、正門前にお巡りさんが立つことがありました。その時、校長先生は「おや？」と思ったことがあったのです。それは お巡りさんに挨拶をしない子が何人もいたのです。お巡りさんからも「挨拶 ちょっと元気がないですね」というお話がありました。以前、地域で交通安全をしてくださっている方からも「泊小の子ども達はもっと挨拶を頑張ってほしいですね」というお話を聞いたことがあります。今回お巡りさんへの挨拶の様子を見て、校長先生は本当に悲しくなりました。

では、なぜ「挨拶をすること」が大事なのでしょうか？それは人と人との出会いで一番最初にするコミュニケーションであるということと、相手を大事に思う心の表れでもあるからです。

俳優さんや歌手などの芸能人や放送関係者は、昼でも夜でも、その日初めて会う人には、

「おはようございます」とあいさつをします。これってちょっと不思議ですね。どうしてだと思いますか？

あいさつには、「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」などがありますが、「おはよう」だけには、相手を大事にする意味がある「ございます」が付きます。そこで相手を大事にするという思いをこめて「おはようございます」を芸能界では、朝、昼、夜いつも使うようになったと言われています。（松竹芸能の先々代の社長さんが提案したと言われているそうです。）

では、どうして「おはよう」だけに「ございます」を付けるようになったのでしょうか？それは「歌舞伎（かぶき）」から来ていると言われています。「歌舞伎（かぶき）」って、初めて聞く言葉ですね。400年位前から始まった日本の伝統的なお芝居です。派手な服装とお化粧が特徴です。テレビや本で見たことがある人もいるかもしれません。

さて、歌舞伎の役者さんは、派手なお化粧とか衣装の準備に時間がかかるので、かなり早めに劇場に入っていたそうです。その際、劇場の「楽屋番（がくやばん）」と呼ばれる裏方さんが、この役者さんたちに対して、いつも「お早ようございますね。」と声を掛けていました。これは『出番までまだ時間があるのに、お早いお着きでございますね。ご苦労様でございます。』という意味です。元々この言葉には「あいさつ」というよりも、むしろ「気遣い」の気持ちが含まれていたのです。そして、この「お早ようございますね。」がいつしか「おはようございます」に変化してたととも言われています。

以前読んだ本の中に、ある有名な会社の社長さんが『社員が「おはようございます」と挨拶できない会社は、絶対収益が上がリません（儲かりません）。挨拶が出来ていないのに収益が上がっている（儲かっている）会社があったら教えてほしい。』ということを書いていた。実は、大人になってこそ挨拶は最も重要なことなんです。

さあ、泊小のみなさんは挨拶はできていますか。校長先生も正門前で挨拶をしています。挨拶がとてもよくできる人と残念ながらそうでない人がいます。挨拶は大人になってから急にできるようにはなりません。挨拶は相手を気遣い・大切に思うこと、また、お互いとてもよい気持ちになる素晴らしいことであることを、改めて感じてほしいのです。そして子どものうちにしっかりと身に付けておいてほしいのです。

最後に校長先生から「挨拶が上手になる4つのポイント」についてお話しします。その4つのポイントは「あいさつ」の言葉の中に隠されています。先生方 板書をよろしくお願いします。

あいさつの「あ」・・・相手を見て 明るく
あいさつの「い」・・・いつでも
あいさつの「さ」・・・先に
あさいつの「つ」・・・つづけける ます。

「相手を見て 明るく、いつでも先に続けて行う」これができる人は、挨拶の名人になれます。泊っ子の皆さん、挨拶が一番上手な泊小学校になるよう頑張ってくださいね。

さて、皆さんは今日のお話を聞いて、「あいさつ」についてどのように考えましたか？「自分の挨拶の仕方はどうだっただろうか」、また「これから挨拶をどのようにしていったらよいだろうか」さらに、「挨拶の大切さって何だろうか」などについて改めて教室で話し合ってみてください。

これで、校長先生のお話を終わります。